

令和7年3月14日 14時00分

近 畿 地 方 整 備 局
兵 庫 国 道 事 務 所

渋滞アドバイザー会議（兵庫ブロック）の結果（概要）

～「一般国道2号神戸西バイパス小東山^{こづかやま}6交差点」の渋滞対策の内容をお知らせします～

○兵庫国道事務所では、^{ワイズネット}W I S E N E T※1の取組として、ETC2.0プローブデータの分析結果により、一般国道2号神戸西バイパス供用区間（東行き）において2箇所ボトルネックが生じていることを確認し、渋滞要因分析および対策検討の結果、小東山^{こづかやま}6交差点を候補箇所として選定しました。

○兵庫地区渋滞対策協議会※2および渋滞アドバイザー会議（兵庫ブロック）において小東山^{こづかやま}6交差点の課題分析について議論がなされたところです。

○一般国道2号神戸西バイパス小東山^{こづかやま}6交差点の渋滞対策について、有識者による「渋滞対策アドバイザー会議（兵庫ブロック）」を開催し、渋滞対策（案）について妥当と判断されたので、お知らせいたします。

○今後、渋滞対策の実施や効果の検証を進めてまいります。

※1 （参考）^{ワイズネット}W I S E N E T2050 パフォーマンスマネジメントの実現

https://www.mlit.go.jp/road/wisenet_policies/

※2 兵庫地区渋滞対策協議会の概要については、下記よりご確認ください。

<https://www.kkr.mlit.go.jp/hyogo/jigyo/jyutai/index.html>

<取扱い>

<配布場所>

近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

兵庫県政記者クラブ、神戸市政記者クラブ

<問い合わせ先>国土交通省 近畿地方整備局 兵庫国道事務所

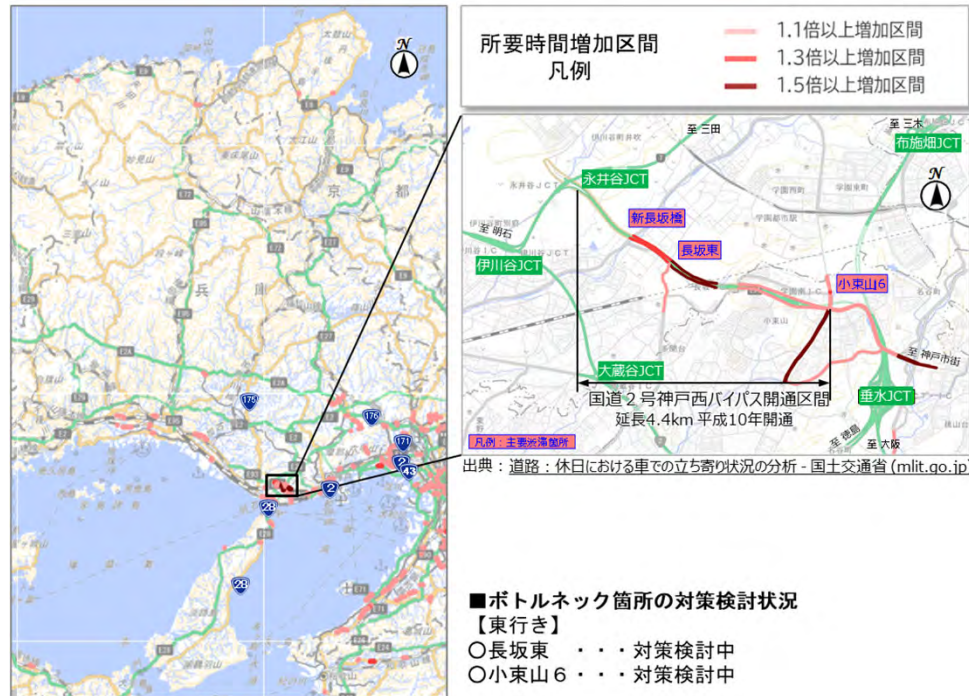
副所長 松下 幸男（まつした ゆきお）

計画課長 桑野 豊（くわの ゆたか）

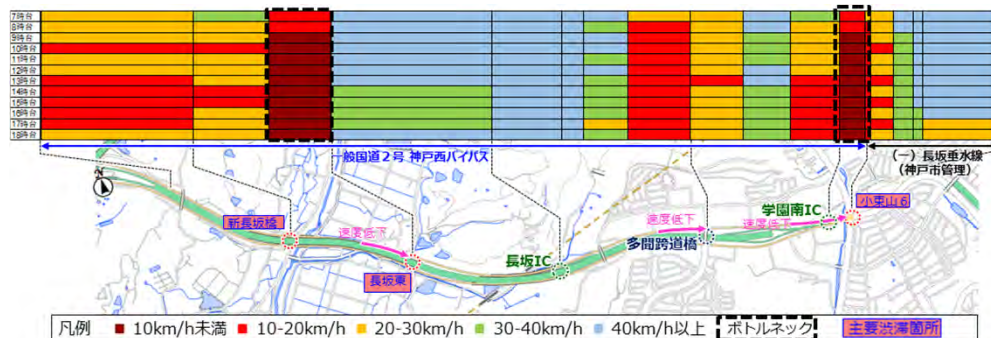
TEL 078-334-1600（代表）

1. 対象区間の選定

■ETC2.0プローブデータの分析の結果、兵庫県内の区間で平日と比較し、休日に所要時間増加区間の1.5倍以上となっている直轄国道は、国道2号神戸西バイパス開通区間のみであり、ボトルネック箇所数は東行き2箇所であることを確認した。



■神戸西バイパス開通区間の時間帯別リンク単位時間帯別旅行速度(休日)



2. 局所渋滞対策候補箇所の選定

■神戸西バイパス開通区間の時間帯別リンク単位時間帯別旅行速度（休日）分析結果によって抽出された一般国道2号神戸西バイパス供用区間における東行きのボトルネック2箇所について、渋滞要因分析及び対策検討を行ったところ、速度低下の先頭となっている小東山6交差点の渋滞を解消すれば、後方の渋滞解消にも資するうえ、用地買収が不要であり対策案についても関係者協議段階に至っていることから、小東山6交差点を局所渋滞対策の候補箇所として選定した。

3. 選定箇所の概要

兵庫県



一般国道2号神戸西バイパス及び第二神明道路（北線）は平成10年4月に一部供用開始後、小東山6交差点周辺に大型商業施設が多数開業した。

平成25年2月に主要渋滞箇所として選定されている。



【写真】国道2号小東山6交差点の混雑状況（明石方面を望む）

所在地：兵庫県神戸市垂水区多聞町
延長：0.2km

4. 分析結果

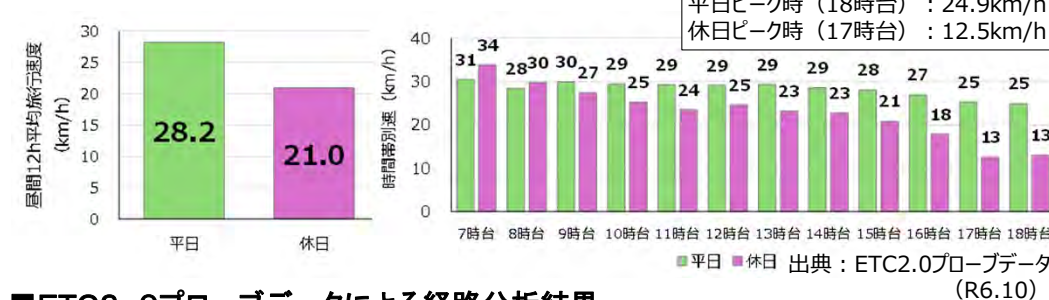
■小束山6交差点における、局所渋滞対策の指標（リンク速度、区間速度、渋滞長）について、ETC2.0プローブデータの旅行速度分析及び現地調査結果により、現況の課題を確認した。

■ETC2.0プローブデータの経路分析及びAIによる現地映像解析の結果、学園南IC出口からの合流車両との輻輳や、交差点右折・Uターン車両が多く、右折車線の滞留長不足による後続車両阻害が渋滞要因の一つとして確認された。

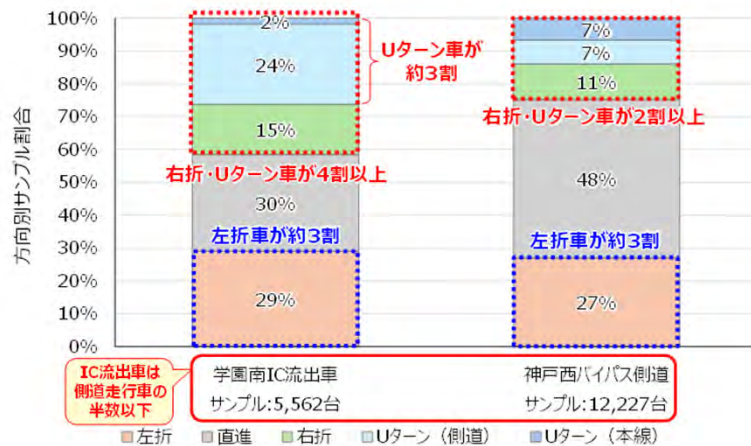
■分析対象区間



■長坂東交差点→垂水IC前間の区間平均旅行速度



■ETC2.0プローブデータによる経路分析結果



出典：ETC2.0プローブデータ (R6.10)

5. 検討結果

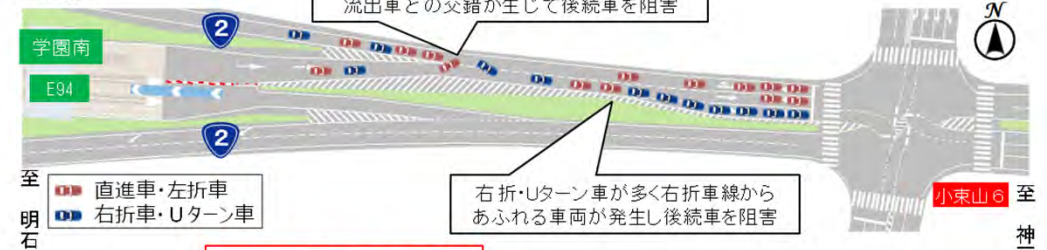
■ETC2.0プローブデータの経路分析及びAIによる現地映像解析の結果、学園南IC出口からの合流車両との輻輳や、交差点右折・Uターン車両が多く、右折車線の滞留長不足による後続車両阻害が渋滞要因の一つとして確認された。

■対策の効果、地域への影響、経済性等を総合的に判断し、対策案については渋滞課題の解決を図るための一つとして「妥当」と判断された。

■主な意見

- 右折車線からあふれる車両が、直進車を阻害している対策として、右折レーン延伸は有効である。
- 交差点への流入交通量を減らすため、交通誘導を促す対策も検討すること。

■現況



■対策案



【参考】渋滞対策アドバイザー会議（兵庫ブロック）委員

- ・ 三谷 哲雄（流通科学大学経済学部経済学科地域まちづくりコース教授）
- ・ 松下 幸男（国土交通省 兵庫国道事務所 副所長）